

特集 ◆新型車両 3600系



Monthly Picks 今月の注目情報！

冬の味覚とご入浴で癒しの日帰り旅に出かけませんか？

「駅長推薦あじな散歩道」冬季版 発売中！

四国内を発着とした往復のJR券とお食事やご入浴がセットになったおトクな日帰り旅行プラン「駅長推薦あじな散歩道」冬季版を発売中。

昨年3月に大幅にリニューアルされ、テラスからの瀬戸内海の眺めが素晴らしい香川県坂出市の「休暇村讃岐五色台」と、地下1,500mから湧き出る天然温泉と冬の宇和海の味覚・鯛や鯛を味わう愛媛県伊方町の「佐田岬亀ヶ池温泉」が楽しめる2種類のきっぷをご用意。

発売期間・おねだんなどの詳細はこちら



NEWS

2026



JR四国列車運行情報

www.jr-shikoku.co.jp/info/select/



3600系新型ハイブリッド式 ローカル車両を導入!



JR四国では、老朽化したローカル気動車の置き換えとして、新型ハイブリッド式ローカル車両「3600系」の製作を進めてきました。昨年12月、量産先行車4両が完成しましたので詳しくご紹介します。

3600系プロフィール

最高運転速度 100km/h

駆動システム ハイブリッド式(2軸駆動)

定員 272名(2両編成)

車体 ステンレス鋼製

製造 近畿車輛株式会社

JR四国初のハイブリッド式車両です



3600系にはJR四国で初めてのハイブリッド方式を採用しており、エンジンで発電した電力とブレーキ時等に蓄電池に貯めた電力を組み合わせ、モーターを回転させて走行します。これにより、安全性・信頼性の更なる向上と、静かで快適な乗り心地を提供します。駅停車時はアイドリングストップをすることで燃費を向上させ、CO₂の削減を図ります。

エクステリアデザイン

ステンレスボディに、四国の海や空をイメージしたライトブルーを配色。縁取るゴールドのラインと側面のストライプは、空から海や川面に降りそそぐ光を表現し、四国の豊かな自然や澄んだ空気・水を象徴しています。



←高松

Mc2:3600番代

Mc1:3650番代

徳島→

インテリアデザイン

床面は温もりを感じる木目調、明るく清潔感のある布目地に、アクセントのグレーブラウンを組み合わせた壁面。有機と無機、明と暗のコントラストにより、ナチュラルな温もりと機能美を調和させた、心地よく洗練された車内を実現しています。



液晶式ディスプレイ

ドア上部に液晶式の情報ディスプレイを設置し、停車駅・到着駅の案内など、わかりやすい情報提供を行います。



車いす対応

バリアフリー整備ガイドラインに対応した車内設備とし、車いすスペースと、従来のローカル車両より広くなった車いす対応トイレを設置しています。



SOSボタンと防犯カメラ

お客様に安心してご利用いただけるよう、車内およびトイレに非常通報装置(SOSボタン)、客室用防犯カメラを設置しています。



今後の計画

完成した量産先行車4両は徳島運転所に配置し、2026年6月の営業運転を目指して試験・教育・訓練等を実施しています。なお、量産車は2027年度から順次導入を予定しており、量産先行車を含めて合計35編成(70両)を製作します。



3600系は大阪府にある車両メーカー「近畿車輛株式会社」で製造され、完成後はJR貨物の機関車の牽引によって、JRの線路を通り、瀬戸大橋を経由して高松まで運ばれました。



特別企画：3600系導入計画担当者座談会

3600系の導入に携わった3名に想いを聞きました。

編集部：3600系の導入にあたり、どのようなミッションがありましたか？

大久保：おもに、価格の低下・重量の低減・汎用性の向上について取り組みました。電気式かハイブリッド式で検討しましたが、最終的にエンジンとモーターで発電した電気で走るハイブリッド式を採用しました。今回量産先行車が配置される徳島は四国で唯一「電車」が走っていない地域です。2014年には近畿車輛様のハイブリッド式車両である「Smart BEST（スマートベスト）」の徳島地域での試験走行に携わりましたか、試乗会に乗車された地域の皆様からは感動の声をいただきました。その頃から非電化区間に「電気の力で走る車両」を走らせるというのは大きなテーマでした。

松村：電気の力で走る3600系は、従来の気動車と比べて車両の加速時のショックが低減されています。通学時に車内で勉強されている学生の皆さんにもより快適に過ごしていただけそうですね。



運輸部車両課
副長 大久保社員(2000年入社)



お客様サービス推進室デザインPT
担当室長 松岡社員(1991年入社)

編集部：「伊予灘ものがたり」をはじめ、これまで数々の車両デザインを担当された松岡さん、今回のテーマはどんなところですか？

松岡：約2年前から大まかなデザインの検討をはじめました。これまで担当した特急列車では、その列車が走る沿線の特徴的な要素を盛り込み、鉄道旅行の演出をしてきました（愛媛県のみかんのオレンジ色、香川県のオリーブの緑色など）。今回は沿線の皆様に普段使いしていただくローカル車両ということで、シンプルで飽きがこないデザインを意識しました。JR四国のコーポレートカラーであるライブルーに、ゴールドのラインを入れています。

大久保：松岡さん、ゴールドのライン好きですよね。

松岡：やはり車両全体の印象を引き締める役割があると思います。ものがたり列車シリーズでもゴールドを使っていますが、太陽光の加減によって印象が変わるので、写真だけでなく実物を見に来ていただき、視覚的に体験してほしいという想いもあります。車両課的にはゴールドは難易度が高いんですよね。

大久保：松岡さんは2014年の初代・伊予灘ものがたり（キハ47形）の時から一緒に仕事をしてきましたが、当時から「ゴールド」は難しいと頭を抱えていました（笑）色彩の表現が難しいのですが、松岡さんのこだわりに応えるべく毎回試行錯誤しています。

編集部：一方、松村さんが車両開発に携わったのは今回が初めてと聞きましたが…

松村：はい。入社後、車掌・運転士やグループ会社での契約・安全管理等の業務を経験し、2024年から3600系の設計業務に参加しています。設計の際には、実際に車両を操縦する乗務員時代の経験も盛り込めたと思っています。幼い頃から鉄道車両が好きで、当社の採用面接でも車両開発の夢を語ってきました。ずっと図面や資料で見ていたものが、いざ形になり、色がつき、動いている姿を見た時には感動しました。

編集部：最後に、今後の想いについてお聞きします。

松岡：完成した車両を見た時に、地元の方にも「お、新しい車両が来た！」と一目で感じていただける車両に仕上がったと思いました。たくさんの人に乗っていただきたいと思っています。

大久保：私は徳島出身ですので、地元の皆さんにも長く愛していただける車両になるよう、量産先行車の走行試験や量産車の計画に取り組んでいきたいと思います。

松村：量産先行車での試験をもとに、さらにブラッシュアップした量産車を作りたいと考えています。今後66両を製作する計画ですが、その基盤を作る一員になれたことはすごく誇りに思っています。



運輸部車両課
松村社員(2020年入社)

第三十九回 四国こんぴら歌舞伎大芝居

令和8年 4月10日(金)初日～4月26日(日)千穂楽

※4月16日(木)
は休演日

◆第一部：午前11時開演 ◆第二部：午後3時開演

公演場所：旧金毘羅大芝居（金丸座）



中村雀右衛門



坂東亀蔵 嵐橋三郎



市川男寅



坂東新悟



坂東巳之助 尾上松緑



演目は
こちらから♪



観劇
プラン

JR四国オリジナルお土産セット付！

四国こんぴら歌舞伎大芝居観劇セット券

A席

21,000円

第一部 A席観劇券+特製弁当+公演記念品+お茶+お土産品
第二部 A席観劇券+公演記念品+お茶+お土産品

B席

17,000円

第一部 B席観劇券+特製弁当+公演記念品+お茶+お土産品
第二部 B席観劇券+公演記念品+お茶+お土産品

今回の
特徴

第二部では、昨年大きく話題となった歌舞伎を題材とした映画のラストシーンでも演じられた「鳶娘」が上演されます！

※既に発売中のため、ご希望日が満席の場合もあります。※ご予約後のキャンセル・変更はお受けできません。※小学生未満（未就学児童）はお申し込みできません。

お申し込みはJR四国旅の予約センター・JR四国ツアーWEB、JR四国ツアーストアへ♪



沿線通学生
寄稿コーナー
第14回

MY STATION

愛媛県立西条高等学校



このコーナーは四国の通学生のみなさんに鉄道に親しみをもっていただこうと企画しました。

最寄駅 伊予西条駅



大手門

西条高等学校は創立130周年を迎えた歴史ある学校で、旧西条藩陣屋跡に立地しています。普通科、国際文理科、商業科があり、理数や国際理解を深めるスーパーイングッシュ校(SSH)指定校もあります。新幹線の生みの親である十河信二氏の出身校としても知られています。学校は地域とのつながりを大切にし、探究的な活動を積極的に進めています。昨年11月に開催された四国新幹線誘致イベントでは、地域・歴史研究部の生徒がスタンプラリーの運営を担当し、昼休みには吹奏楽部が演奏を行うなど、地域と連携した活動にも力を入れています。

学校紹介と列車通学の思い出

越智 雅友さん(2年)

私は西条高校に入学して以来、JRを利用して通学しています。朝は早く、身支度に追われることもありますが、電車の中では友人と勉強をしたり会話を楽しんだりしながら、充実した時間を過ごしています。伊予西条駅の駅員の皆さんや運転士の方々が、いつも笑顔で挨拶してくださるおかげで、気持ちよく一日をスタートすることができます。



毎朝、西条高校へ登校する際に特に楽しみにしているのが「大手門」です。この門をくぐると自然と気持ちが引き締まり、「今日も一日頑張ろう」という前向きな気持ちになります。日々の授業では、先生方が豆知識や役立つ情報を交えながら教えてくださるため、学ぶことの楽しさを実感しています。

進路について不安を感じることがあっても、多くの先生方が親身になって支えてくださるので、安心して将来に向き合うことができます。放課後は地域・歴史研究部に所属し、西条市の歴史や文化について研究を深めています。

帰りの電車では、心地よい揺れに身を任せてうたた寝をしたり、友人とその日の出来事を語り合ったりしながら、リラックスした時間を過ごしています。充実した高校生活の中で、これからもさまざまなことに挑戦していくたいと考えています。

山内 綾乃さん(2年)

大手門に見守られ、お堀に囲まれた西条高校は今年度で創立130周年を迎えました。伝統を重んじ、県内でも東予唯一のSSH校に指定されています。また、国際交流など幅広い分野に力を入れており、部活動も活発に行われています。



高校から始まった電車通学では、クラスの友達だけでなく、他のクラスの人や他学年の人との関わりもあり、私の高校生活はより楽しいものとなりました。私は電車で過ごす時間が好きです。季節によって、木々の色や空の色が違つて見えるのが綺麗で、電車に乗るたびに四季の移り変わりを感じることができ、電車の中での私の密かな楽しみになっています。また、電車で友達と話す時間もお気に入りです。

電車がなければ、私は西条高校に通うこと、今の友達に出会うことができなかつたので、電車には本当に感謝しています。早起きをしたり、遠くから通うことによる時間的な負担など、苦労する面もありますが、それ以上に電車通学は私を成長させてくれています。気づけば、電車通学も残すところ約1年。残りの学校生活も電車通学も全力で謳歌したいと思います。



海外高校生との交流



新幹線誘致イベントに参加する
地域・歴史研究部員

校長先生からひと言

愛媛県立西条高等学校 校長

山下 和宏先生

本校は、SSHの指定校として、学びの中でワクワクする知的好奇心を育み、一人一人の可能性を伸ばす教育を大切にしています。多彩な学びと探究活動を通じ、未来を自ら切り拓く力を支えていきます。



JR四国先輩からのメッセージ

松山運転所 運転士

徳永 亮馬社員

創立100周年となる1996年に卒業し、現在は運転士として予讃線の列車に乗務しています。伊予西条駅や列車内などで西条高校生の姿を見ると懐かしく、そして誇らしく感じます。JR四国は鉄道だけでなく様々な分野の職種があるので、自分のスタイルに合った仕事ができます。今しかない高校生活を全力で楽しんで下さい。そして、いつか卒業したあなたと一緒に働く日が来ることを願っています。



私も西条高校出身です!

JR四国

四之宮 和幸社長

1983年卒業。伊予三芳駅から汽車通で皆勤しました。

JR四国は鉄道事業だけでなく、ホテル、バス、駅ビル・不動産、飲食・物販、建設、ITなど運営共同体の四国の未来をつくるため様々な事業を展開しています。



皆さんと一緒に働く機会をお待ちしています。



愛媛県立西条高等学校

ABOUT
THE
SCHOOL

〒793-8509

愛媛県西条市明屋敷234番地 ■開校年度:1896年

シコクを、おトクに。スマえきで。
「スマえき」はいつでもどこでもきっぷが買える、JR四国のチケットアプリです。



列車の発着時刻、運賃・料金、鉄道企画商品に関するお問い合わせ

JR四国電話
案内センター 0570-00-4592

(お客様がお使いの電話回線の種類によってはご利用いただけない場合があります。)

受付時間 (年中無休)
8:00~19:00
通話料がかかります。



JR四国は国土交通省が主体で全国のJRや私鉄各社が取り組む「鉄道でエコキャンペーン」に参加しています。

発行:四国旅客鉄道株式会社 広報室
〒760-8580 香川県高松市浜ノ町8番33号